

平成23年度  
交通事故被害者サポート事業報告書

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付

交通安全対策担当



# ま え が き

昨年、道路交通事故によって24時間以内に亡くなられた方は4,611人となり、11年連続して減少しました。また、発生件数及び負傷者数も平成16年をピークに減少しています。しかしながら、いまだに85万人を超える方が道路交通事故により死傷されているという厳しい状況が依然として続いております。

本年度から始まった「第9次交通安全基本計画」においても、道路交通の安全確保のために講じる施策の8つの柱のひとつとして「被害者支援の推進」が掲げられ、自助グループの活動等に対する支援を始めとした被害者支援の充実強化を図ることとしております。

新たに交通事故の被害に遭われる方が日々増加する中で、交通事故は、いつ我が身に振りかかってもおかしくない非常に身近な出来事といえます。そして、ひとたび交通事故が発生すれば、被害者やその家族・遺族の方々は深い悲しみや辛い体験を長い間抱えながら生活することとなります。

本事業は、交通事故により深い悲しみや辛い体験を抱える方々が立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような土壌を醸成するとともに、その方々の権利・利益の保護を図ることを目的として実施してまいりました。

本事業により、少しでも、交通事故の被害者やその家族・遺族の方々への支援の輪が広がり、国民が互いに支え合い、安全で安心して暮らせる社会の形成の一助につながれば幸いです。

最後に、本事業に御尽力いただいた委員の先生方や関係各位に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

平成24年3月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付  
交通安全対策担当参事官 安部 雅俊



# 目 次

<b>第1章 平成23年度事業の概要</b> .....	<b>1</b>
. 目的 .....	1
. 事業の概要 .....	1
. 事業の内容 .....	1
<b>第2章 検討会</b> .....	<b>2</b>
. 目的 .....	2
. 事業内容 .....	2
. 委員 .....	2
. 開催概要 .....	3
<b>第3章 自助グループ運営・連絡会議</b> .....	<b>4</b>
. 目的 .....	4
. 参加者 .....	4
. 開催日時及び会場 .....	4
. プログラム .....	5
. 自助グループ運営・連絡会議 第1日目 .....	7
1. 講義：交通安全対策の現状と課題 .....	7
2. 講義：犯罪被害者等施策の現状と課題 .....	7
3. 講義：交通事故被害者遺族の悲嘆とケア .....	7
4. 自助グループに参加する意義と支援センターに希望すること .....	7
. 自助グループ運営・連絡会議 第2日目 .....	17
1. 各支援センターの現状についてグループ討議及び報告 .....	17
2. 自助グループの進め方についての講義 .....	21
3. 模擬自助グループ（ロールプレイ） .....	21
<b>第4章 各種相談窓口等意見交換会</b> .....	<b>25</b>
. 目的 .....	25
. 概要 .....	25
. 体制 .....	25
. プログラム .....	26
. 実施内容 .....	27
1. 山梨県各種相談窓口等意見交換会 .....	27
2. 秋田県各種相談窓口等意見交換会 .....	29

3 . 愛知県各種相談窓口等意見交換会 .....	31
4 . 奈良県各種相談窓口等意見交換会 .....	33
5 . 佐賀県各種相談窓口等意見交換会 .....	35
6 . 香川県各種相談窓口等意見交換会 .....	37
<b>第5章 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に向けたパンフレットの作成・配布.....</b>	<b>39</b>
. 目的 .....	39
. 概要 .....	39
. 成果物 .....	39
. 配布先 .....	39
<b>第6章 子どもの頃に交通事故で家族を亡くした遺族に対する WEB 調査 .....</b>	<b>40</b>
. 調査概要 .....	40
1 . 目的 .....	40
2 . 調査対象 .....	40
3 . 調査方法 .....	40
4 . 調査期間 .....	40
5 . 回収結果 .....	41
6 . WEB 調査結果に関する留意点 .....	41
. 調査結果の概要 .....	42
1 . 調査回答者の属性 .....	42
2 . 家族が亡くなったことの説明について .....	42
3 . 周囲の対応 .....	43
4 . 心身の困難さや行動面の変化 .....	43
5 . 情報支援の取得状況及びニーズ .....	44
6 . 現在の精神的状態 .....	46
. 調査結果 .....	47
1 . 回答者の属性 .....	47
2 . 家族が亡くなったことについて受けた説明 .....	50
3 . 周囲からの助けになった対応 .....	57
4 . 周囲や友人、家族からの不快な対応 .....	60
5 . 気持ちの面での困難さ .....	64
6 . 身体の面での困難さ .....	69
7 . 行動面の変化 .....	73
8 . 「心身の困難さや行動面の変化」に関する分析 .....	79
9 . 「心身の困難さや行動面の変化」に関する情報 .....	86

10 . 「家族や友人関係に悩んだときの支援」に関する情報 .....	96
11 . 「学業」に関する情報 .....	102
12 . 現在の精神的状態 .....	107
13 . 交通事故の遺族への支援について感じていること .....	113
<b>第7章 総括 .....</b>	<b>118</b>
<b>資 料 .....</b>	<b>121</b>
1 . 属性と事故時年齢等の平均値 .....	123
2 . 亡くした家族の性別による構成比 .....	123
3 . 説明について納得がいくものだった理由、納得がなかった理由 .....	124
4 . 周囲からの助けになった対応 .....	124
5 . 周囲や友人、家族からの不快な対応 .....	127
6 . 気持ちの面での困難さに関する情報取得の回答別の平均年齢 .....	129
7 . 身体面での困難さに関する情報取得の回答別の平均年齢 .....	129
8 . 行動面での困難さに関する情報取得の回答別の平均年齢 .....	129
9 . WEB 調査と平成 22 年国勢調査における属性の比較 .....	130
10 . WEB 調査票 .....	131

